

## いばらきネットモニター 茨城県の施策や将来像等に関するアンケート結果

### 1 調査目的

本県では、時代の変化に的確に対応し、未来に希望を持つことができる「新しい茨城」づくりを県民の皆様とともに推進していくため、県政運営の基本方針となる「第2次茨城県総合計画～『新しい茨城』への挑戦～」（計画期間：令和4年度～令和7年度）を策定し、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に取り組んでいます。

このたび、令和8年度からの新しい総合計画の策定及び施策の検討等にあたり、これまで取り組んできた本県の施策や将来像などについて広く意見を聴取するため、本調査を実施しました。

### 2 結果の概要

#### (各分野の重要施策)

- ・「産業・観光」分野において重要と考える施策について、「豊かな自然環境や地域資源の活用による観光誘客」、「農林水産業やものづくり産業をはじめとする県内産業の活性化」のほか、「県内産業を支える人材育成」、「多様な働き方の実現・安定した雇用の確保」に関する施策への回答が多かった。
- ・「医療・福祉・安心安全」分野において重要と考える施策について、「身近な医療施設の整備」のほか、「救急医療等を受けられる体制の整備」、「治安対策・交通安全対策」に関する施策への回答が多かった。
- ・「生活・環境」分野において重要と考える施策について、「公共交通機関の維持・確保」のほか、「自然環境の保全」に関する施策への回答が多かった。
- ・「教育・子育て・文化（スポーツ）」分野において重要と考える施策について、「結婚・出産・子育てに関する環境整備」のほか、「生涯学習環境の充実」に関する施策への回答が多かった。

#### (茨城県の将来への不安)

- ・本県の将来について不安に感じることとしては、「高齢化の進行」のほか、「人口減少」や「物価高への対応」への回答が多かった。

#### (人口減少対策)

- ・今後、本県に力を入れて欲しい人口減少対策については、「保健、医療、福祉の充実」、「企業誘致や企業支援による働く場の確保」や「出産支援・子育て支援」への回答が多かった。

#### (新計画の周知・広報手段)

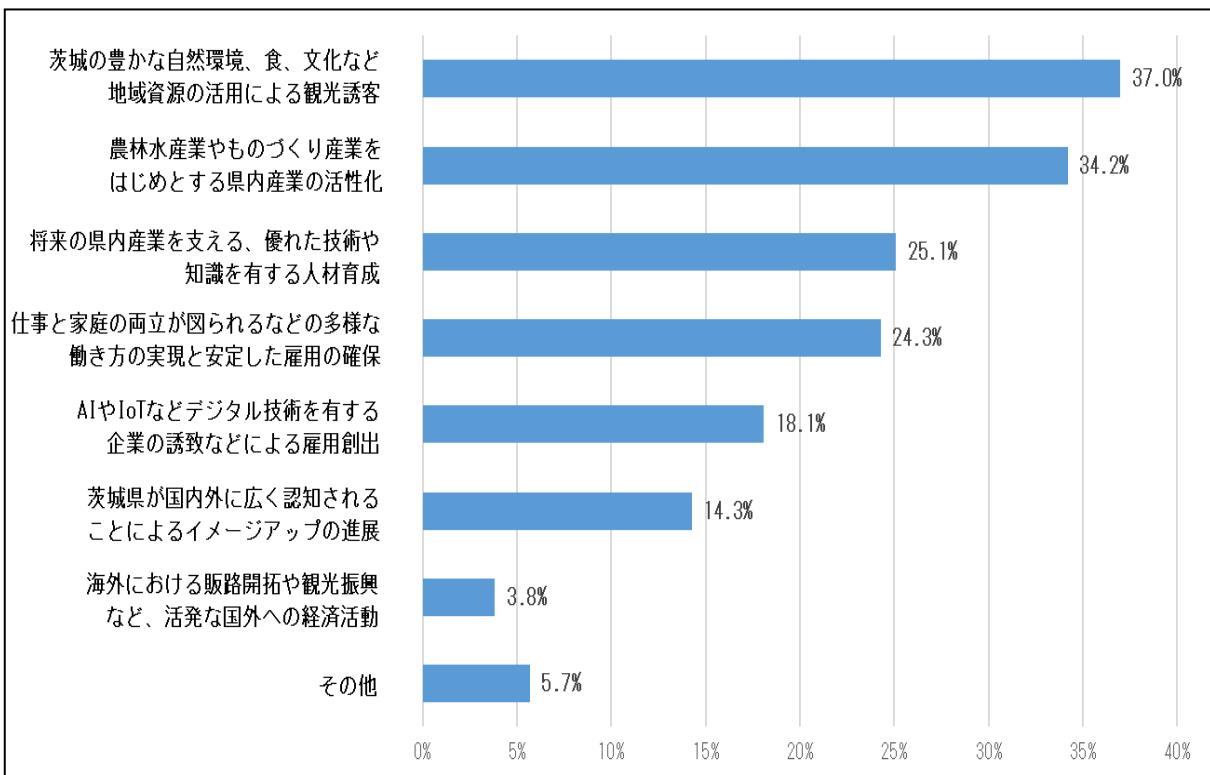
- ・新たな総合計画の周知・広報手段として効果的な方法については、「SNSでの情報発信」や「県広報紙（ひばり）の活用」といった回答が多かった。

## 【問1】（「産業・観光」分野の重要施策）

あなたが、「産業・観光」分野の施策に関して重要だと考えるものは何ですか。

次の中から、あてはまるものを最大2つまで選び、選んだ理由をお書きください。（250字以内）

（n=968）



○「茨城の豊かな自然環境、食、文化など地域資源の活用による観光誘客」(37.0%) が最も多く、次いで「農林水産業やものづくり産業をはじめとする県内産業の活性化」(34.2%)、「将来の県内産業を支える、優れた技術や知識を有する人材育成」(25.1%) の順であった。

○選択した理由として、次のような意見が挙げられた。

- |  |              |
|--|--------------|
| ○ 「茨城の豊かな自然環境、食、文化など地域資源の活用による観光誘客」(37.0%)     | など (計 358 件) |
| ・ 茨城県内の地域資源の有効活用により地域活性化につながる                  |              |
| ・ 茨城県はメロン、栗、ピーマン、さつまいも、米、魚介類など良質な食材を得られる強みがある  |              |
| ・ 東京からのアクセスも良好、何らかの起爆剤で良質な観光県になれるはず            |              |
| ○ 「農林水産業やものづくり産業をはじめとする県内産業の活性化」(34.2%)        | など (計 331 件) |
| ・ 北海道、鹿児島県に次ぐ農業県なのでその強みを活かすべき                  |              |
| ・ 農家の担い手育成をしないと茨城の農業は衰退してしまう                   |              |
| ・ 魅力的な特産品が多くあると、知名度も高くなる                       |              |
| ○ 「将来の県内産業を支える、優れた技術や知識を有する人材育成」(25.1%)        | など (計 243 件) |
| ・ 人材育成はすべての産業の根幹だと思う                           |              |
| ・ 育成した人材が都内や県外へ流出しては意味がない                      |              |
| ○ 「仕事と家庭の両立が図られるなどの多様な働き方の実現と安定した雇用の確保」(24.3%) | など (計 235 件) |
| ・ 雇用が安定する事で少子化に歯止めがかかる                         |              |

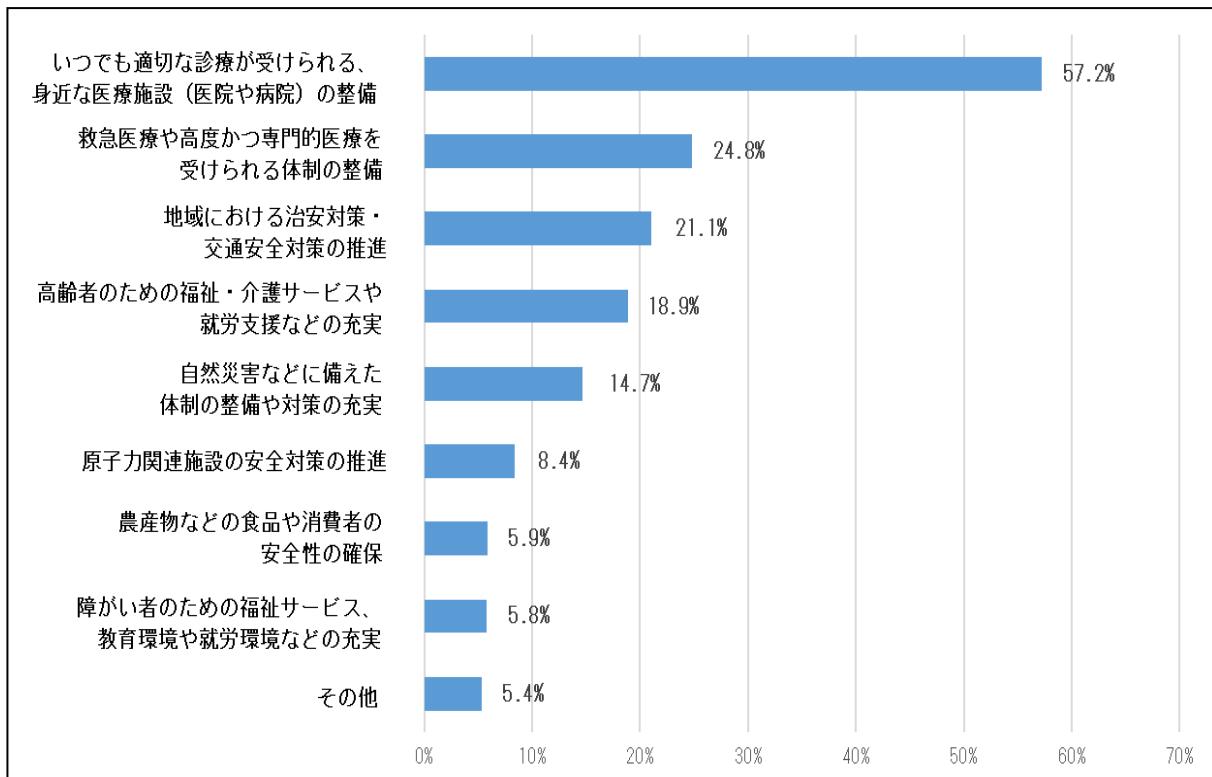
○ 「AI や IoT などデジタル技術を有する企業の誘致などによる雇用創出」(18.1%) ・企業を誘致すれば雇用が増え、茨城の人口増加につながる など (計 175 件)
○ 「茨城県が国内外に広く認知されることによるイメージアップの進展」(14.3%) ・まだまだ茨城県の魅力は知られていないので、それを知らせることが必要だと思う など (計 138 件)
○ 「海外における販路開拓や観光振興など、活発な国外への経済活動」(3.8%) ・人口減少に伴い国内需要も減少傾向が見込まれる中では、国外需要をターゲットにした経済活動が重要 など (計 37 件)
○ 「その他」(5.7%) ・車がないと行けない場所が多いため、観光における交通の便を改善してほしい など (計 55 件)

## 【問2】（「医療・福祉・安心安全」分野の重要施策）

あなたが、「医療・福祉・安心安全」分野の施策に関して重要だと考えるものは何ですか。

次の中から、あてはまるものを最大2つまで選び、選んだ理由をお書きください。（250字以内）

（n=968）



○ 「いつでも適切な診療が受けられる、身近な医療施設（医院や病院）の整備」（57.2%）が最も多く、次いで「救急医療や高度かつ専門的医療を受けられる体制の整備」（24.8%）、「地域における治安対策・交通安全対策の推進」（21.1%）の順であった。

○ 選択した理由として、次のような意見が挙げられた。

○ 「いつでも適切な診療が受けられる、身近な医療施設（医院や病院）の整備」（57.2%）

- ・必要な時に必要な医療が受けられる環境が生活の安心につながる
- ・車がないと医療機関に行く事もできない地域がある
- ・医師の減少と高齢化で、今後適切な診療が受けられなくなる可能性がある

など（計554件）

○ 「救急医療や高度かつ専門的医療を受けられる体制の整備」（24.8%）

- ・救急搬送の受け入れ先決定に時間がかかる問題を解消して欲しい
- ・がん治療など高度医療設備が県南地域に集中しており、県北地域での整備が必要
- ・医療従事者の待遇を改善して、救急医療や高度かつ専門的医療を受けられる体制を維持することが大切

など（計240件）

○ 「地域における治安対策・交通安全対策の推進」（21.1%）

- ・地域の治安や交通安全対策は、安心して生活するために必要だと思う
- ・死亡事故数が全国上位だから

など（計204件）

○ 「高齢者のための福祉・介護サービスや就労支援などの充実」（18.9%）

- ・これから数十年は福祉や介護サービスの需要が増える

など（計183件）

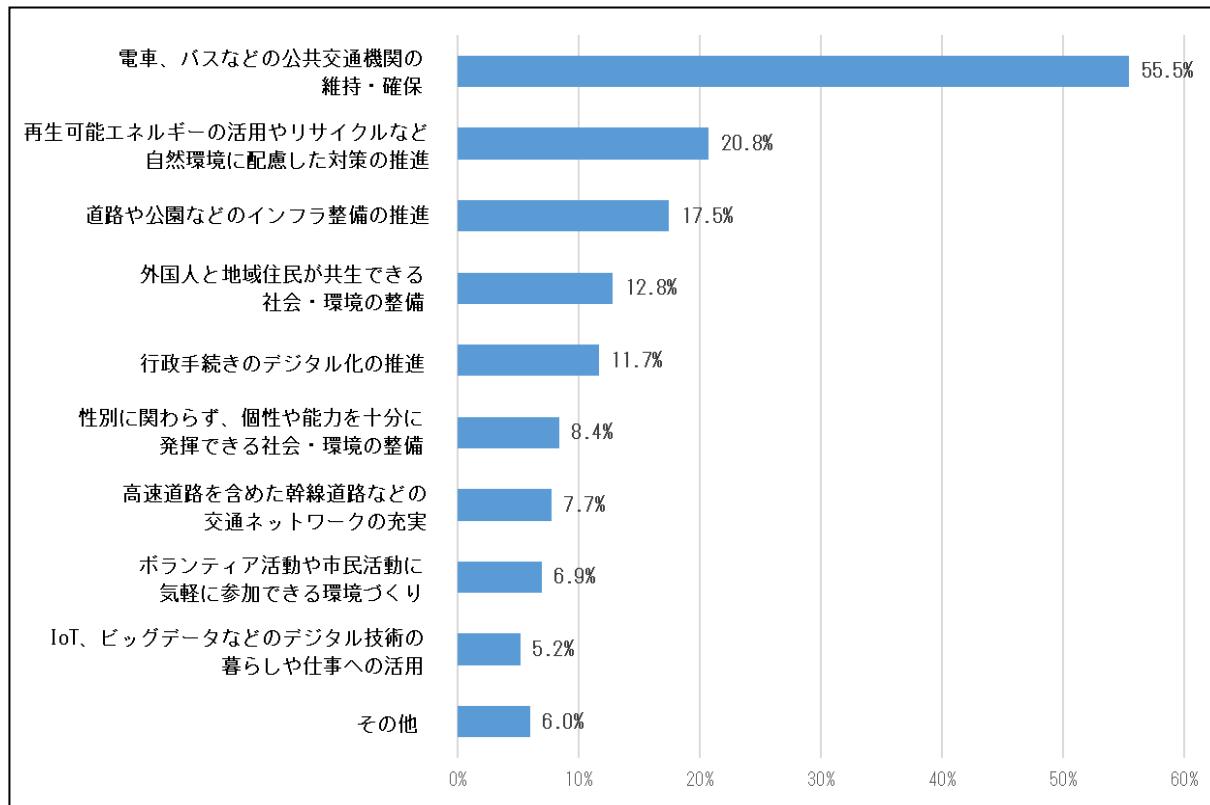
○「自然災害などに備えた体制の整備や対策の充実」(14.7%) ・これまで経験しなかった自然の猛威が発生しており、しっかりとした対策が必要 など(計 142 件)
○「原子力関連施設の安全対策の推進」(8.4%) ・首都圏に最も近い原発がある県のため など (計 81 件)
○「農産物などの食品や消費者の安全性の確保」(5.9%) ・食の安全確保は基本だと思う など (計 57 件)
○「障がい者のための福祉サービス、教育環境や就労環境などの充実」(5.8%) ・障害者が暮らしやすい社会は、健常者にも暮らしやすい社会である など (計 56 件)
○「その他」(5.4%) ・外国人の不法就労・不法滞在者の取締り強化 など (計 52 件)

### 【問3】（「生活・環境」分野の重要施策）

あなたが、「生活・環境」分野の施策に関して重要だと考えるものは何ですか。

次の中から、あてはまるものを最大2つまで選び、選んだ理由をお書きください。（250字以内）

（n=968）



○「電車、バスなどの公共交通機関の維持・確保」（55.5%）が最も多く、次いで「再生可能エネルギーの活用やリサイクルなど自然環境に配慮した対策の推進」（20.8%）、「道路や公園などのインフラ整備の推進」（17.5%）の順であった。

○選択した理由として、次のような意見が挙げられた。

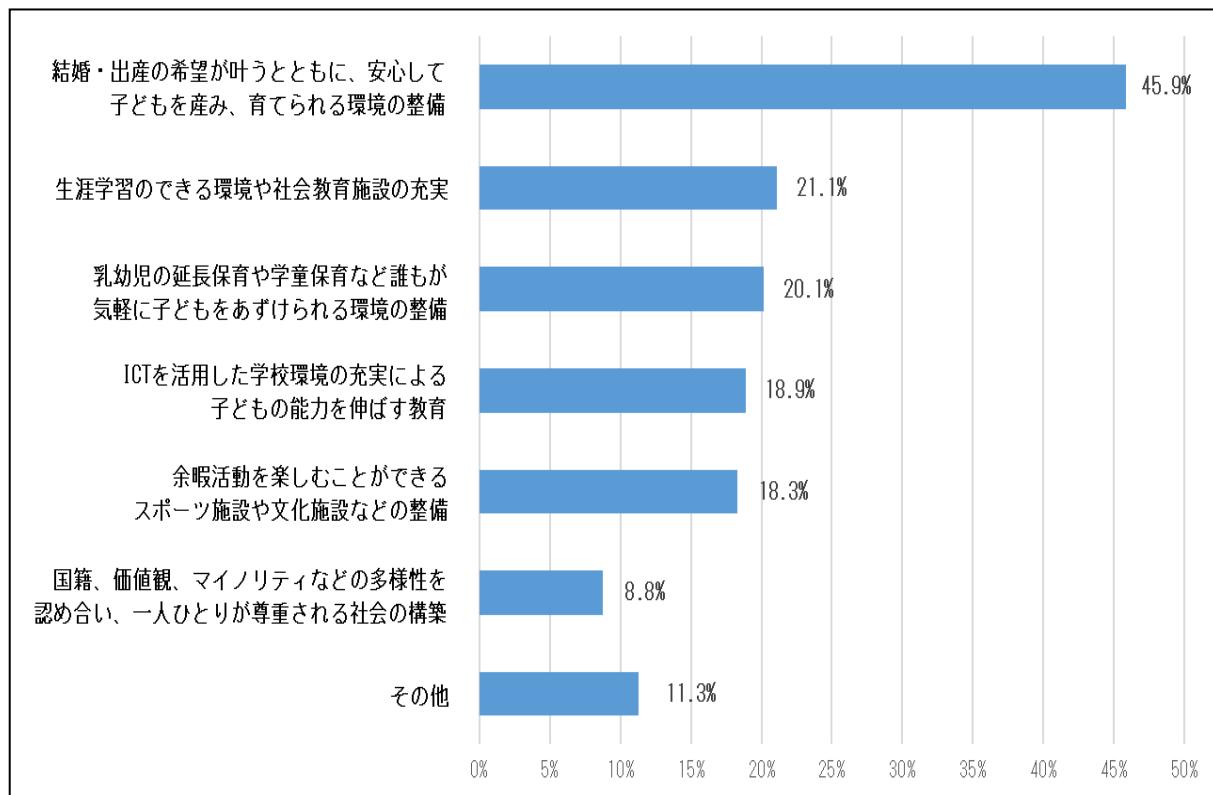
- 「電車、バスなどの公共交通機関の維持・確保」（55.5%）
  - ・高齢者の免許返納を促すには公共交通機関の維持、確保が大事
  - ・ただでさえ車がないと生活ができないのに公共交通機関が弱いとさらに人が来ない
  - ・田舎は電車、バスの本数が少ないなど（計537件）
- 「再生可能エネルギーの活用やリサイクルなど自然環境に配慮した対策の推進」（20.8%）
  - ・地球温暖化の影響で災害が多くなっている
  - ・茨城県では環境破壊やトラブルのない再生可能エネルギーの導入を目指してほしい
  - ・リサイクルをしてごみを減らすなど（計201件）
- 「道路や公園などのインフラ整備の推進」（17.5%）
  - ・インフラの老朽化によりいたるところで命に関わる事故が発生している
  - ・ガタガタの道路は走りにくいなど（計169件）
- 「外国人と地域住民が共生できる社会・環境の整備」（12.8%）
  - ・外国人が働きやすく暮らしやすい地域になることが、産業の活性化に繋がるなど（計124件）

○「行政手続きのデジタル化の推進」(11.7%)	・共働きのため、行政手続きのために休みを取のが大変	など (計 113 件)
○「性別に関わらず、個性や能力を十分に発揮できる社会・環境の整備」(8.4%)	・まだまだ女性の社会進出はおくれている	など (計 81 件)
○「高速道路を含めた幹線道路などの交通ネットワークの充実」(7.7%)	・通勤を始めとする渋滞は相当な時間やエネルギーの無駄だと思う	など (計 75 件)
○「ボランティア活動や市民活動に気軽に参加できる環境づくり」(6.9%)	・ボランティア活動や市民活動を通して地域コミュニティを形成していくことができる	など (計 67 件)
○「IoT、ビッグデータなどのデジタル技術の暮らしや仕事への活用」(5.2%)	・人口減少時代に生産性を維持または向上するために有効	など (計 50 件)
○「その他」(6.0%)	・新たなモノの整備ではなく、従来インフラのメンテナンスが重要	など (計 58 件)

#### 【問4】（「教育・子育て・文化（スポーツ）」分野の重要施策）

あなたが、「教育・子育て・文化（スポーツ）」分野の施策に関して重要だと考えるものは何ですか。

次の中から、あてはまるものを最大2つまで選び、選んだ理由をお書きください。（250字以内）  
(n=968)



- 「結婚・出産の希望が叶うとともに、安心して子どもを産み、育てられる環境の整備」(45.9%)が最も多く、次いで「生涯学習のできる環境や社会教育施設の充実」(21.1%)、「乳幼児の延長保育や学童保育など誰もが気軽に子どもをあづけられる環境の整備」(20.1%)の順であった。
- 選択した理由として、次のような意見が挙げられた。

○「結婚・出産の希望が叶うとともに、安心して子どもを産み、育てられる環境の整備」(45.9%) <ul style="list-style-type: none"><li>・持続的な発展のためには人口の増加が必要</li><li>・経済的な面を考えなければ、2人以上子供が欲しい</li><li>・産院が少ない</li></ul> など (計 444 件)
○「生涯学習のできる環境や社会教育施設の充実」(21.1%) <ul style="list-style-type: none"><li>・高齢化が進む社会において生涯学習のできる環境整備は重要と考える</li><li>・現役の働く人が夜間に学べる場所が欲しい（平日昼の高齢者や主婦向けが多い）</li><li>・生涯学習が誰でも何処でもできるようにして欲しい</li></ul> など (計 204 件)
○「乳幼児の延長保育や学童保育など誰もが気軽に子どもをあづけられる環境の整備」(20.1%) <ul style="list-style-type: none"><li>・安心して子育てしながら働く環境が必要</li><li>・気軽に安心して子ども預けられる環境が整っていなければ、特に第2子以降の出産をためらってしまう</li></ul> など(計 195 件)
○「ICTを活用した学校環境の充実による子どもの能力を伸ばす教育」(18.9%) <ul style="list-style-type: none"><li>・様々な分野において、デジタル技術の対応は必須である</li></ul> など (計 183 件)

○ 「余暇活動を楽しむことができるスポーツ施設や文化施設などの整備」(18.3%) ・健康寿命を延ばすには、余暇活動を楽しむことが大事である	など (計 177 件)
○ 「国籍、価値観、マイノリティなどの多様性を認め合い、一人ひとりが尊重される社会の構築」(8.8%) ・多様性を認め合うことがこれからの中文化共生には必要不可欠である	など (計 85 件)
○ 「その他」(11.3%) ・保育士、教職員の確保や雇用環境の整備	など (計 109 件)

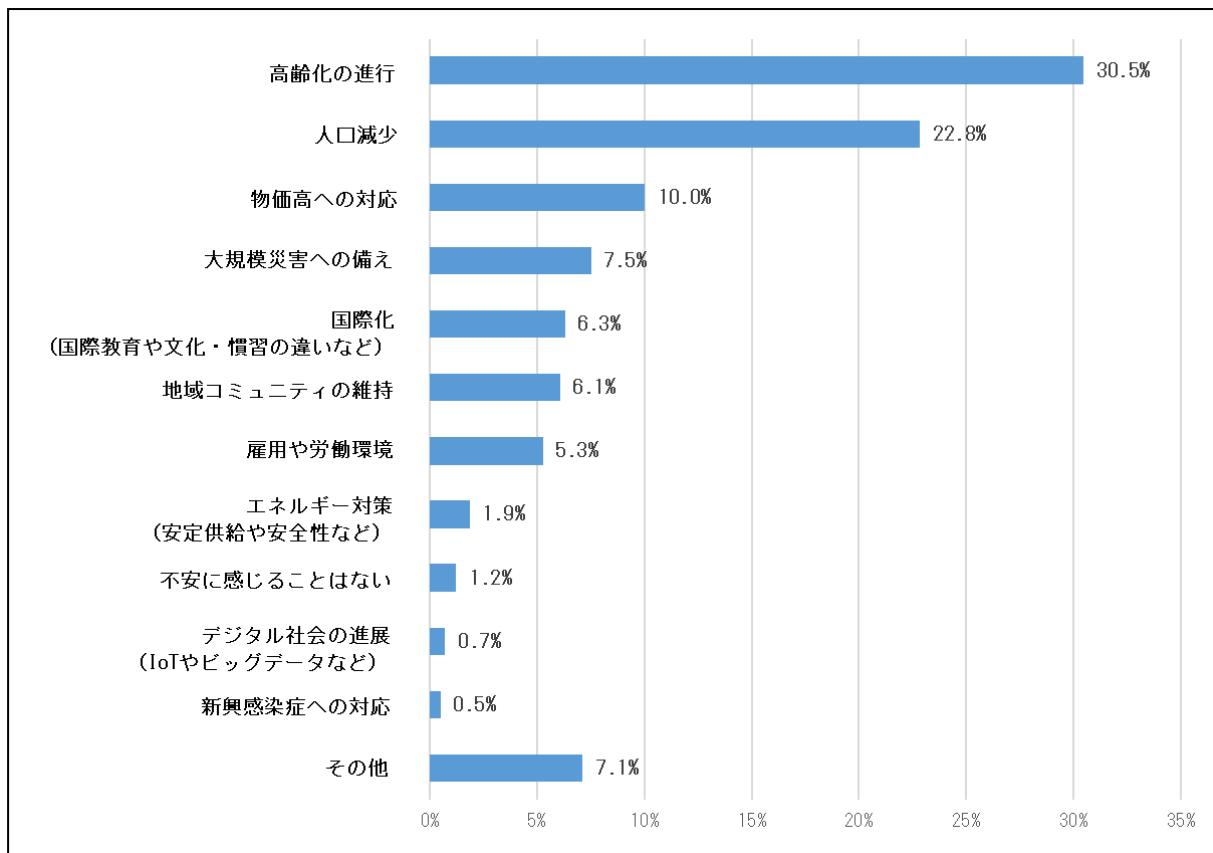
## 【問5】(茨城県の将来への不安)

茨城県を取り巻く社会環境は、今後も大きく変化していくことが予想されています。

あなたが、茨城県の将来において、不安に感じるものは何ですか。

次の中から、最もあてはまるものを1つ選んでください。

(n=968)



- 「高齢化の進行」(30.5%) が最も多く、次いで「人口減少」(22.8%)、「物価高への対応」(10.0%) の順であった。
- 「その他」(7.1%) として、次のような意見が挙げられた。(計 69 件)
  - ・外国人、オーバーステイの犯罪。茨城県は犯罪が多い
  - ・県内における地域格差の拡大
  - ・医師不足

## 【問6】(人口減少対策)

将来の茨城県の総人口や人口構成は、以下のとおりになると言われています。

あなたが今後、茨城県に力を入れてほしい人口減少対策は何ですか。

次の中から、最もあてはまるものを1つ選んでください。

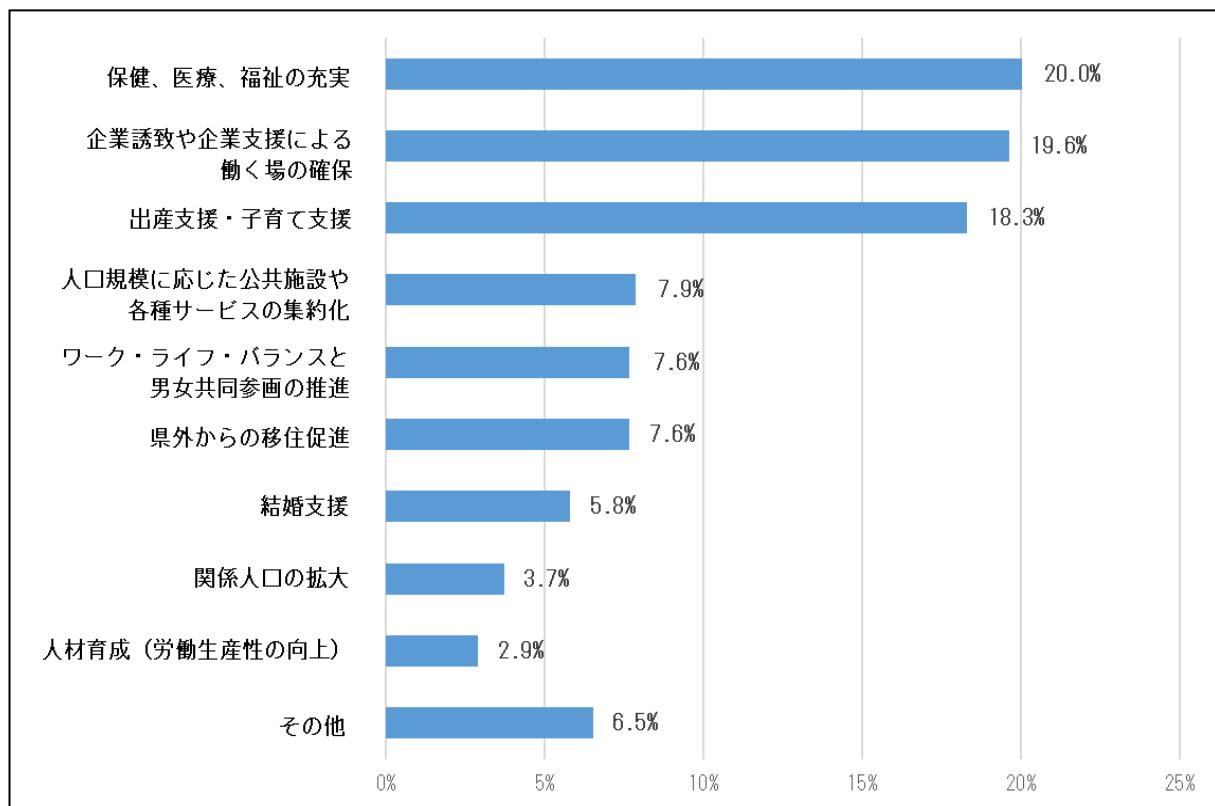
◆総人口：287万人→225万人（62万人減）

- ・年少人口（0～14歳）：34万人→21万人（13万人減）
- ・生産年齢人口（15～64歳）：168万人→114万人（54万人減）
- ・老人人口（65歳～）：85万人→90万人（5万人増）

（出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」）

※人口の時点は、すべて2020年に対し、2050年の数字

(n=968)



- 「保健、医療、福祉の充実」（20.0%）が最も多く、次いで「企業誘致や企業支援による働く場の確保」（19.6%）、「出産支援・子育て支援」（18.3%）の順であった。
- 「その他」（6.5%）として、次のような意見が挙げられた。（計63件）
  - ・賃金アップや生活支援などで若者が結婚や出産に希望と夢がもてるような大胆な政策
  - ・若者が安心して暮らしていける環境を整える事が必要。物価、労働時間、休暇日数など変えなければならないことはたくさんある

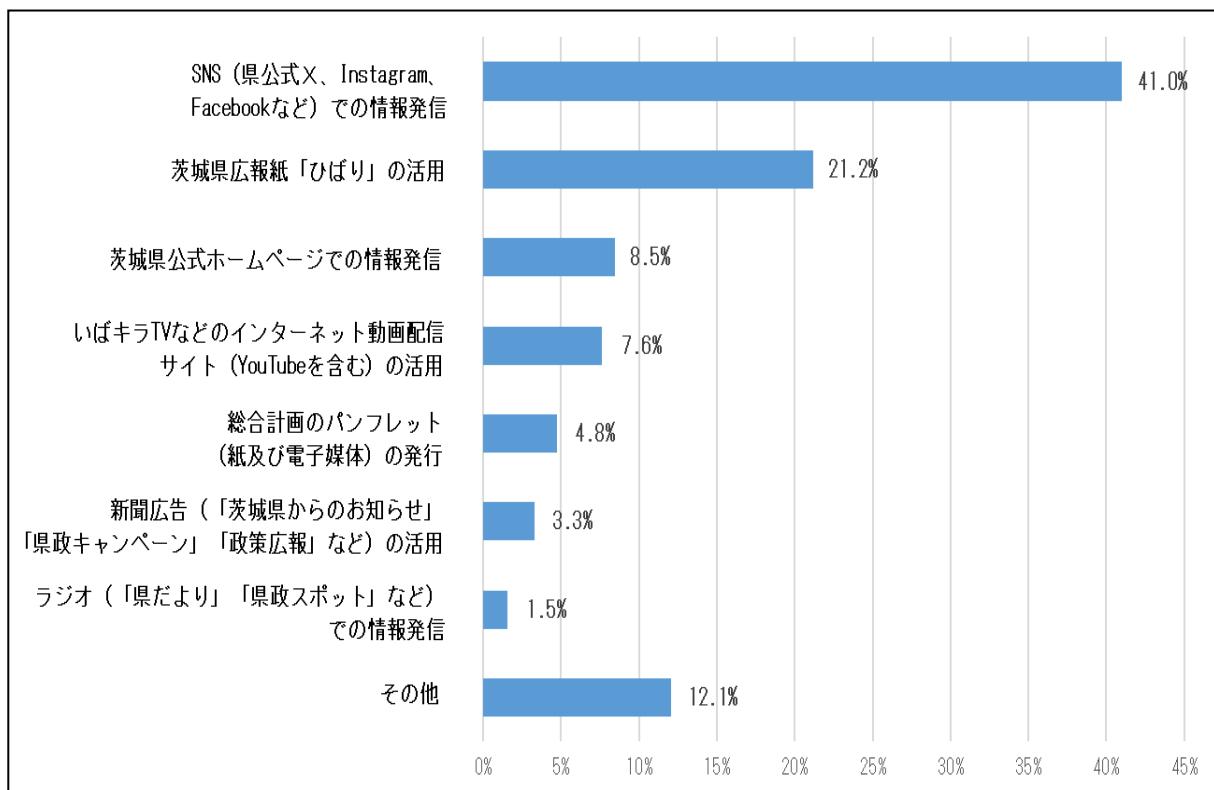
## 【問7】(周知・広報手段)

県では、令和4年3月に県政運営の指針となる「茨城県総合計画～『新しい茨城』への挑戦～」を策定し、各種施策に取り組んできました。

総合計画については、冊子やパンフレットなどでの広報普及に取り組んできたところですが、令和8年度からの新たな総合計画を広く周知・広報していく手段として、どのような方法が効果的であると考えますか。

次の中から、あてはまるものを1つ選び、選んだ理由をお書きください。(250字以内)

(n=968)



○「SNS (県公式X、Instagram、Facebookなど)での情報発信」(41.0%)が最も多く、次いで「茨城県広報紙「ひばり」の活用」(21.2%)、「茨城県公式ホームページでの情報発信」(8.5%)の順であった。

○選択した理由としては、次のような意見が挙げられた。

○「SNS (県公式X、Instagram、Facebookなど)での情報発信」(41.0%)	など (計 397 件)
・若い人の目にもとまりやすい	
・影響力が大きい	
○「茨城県広報紙「ひばり」の活用」(21.2%)	など (計 205 件)
・老若男女見る機会が多く一番活用しやすいのでは	
・ポストに入っていれば確実に目を通す	
○「茨城県公式ホームページでの情報発信」(8.5%)	など (計 82 件)
・信頼性の高い情報源である	
・誰でもアクセスできる方法である	
○「いばキラTVなどのインターネット動画配信サイト (YouTubeを含む)の活用」(7.6%)	など (計 74 件)
・若年層を中心に情報接触の主流は動画である	

○「総合計画のパンフレット（紙及び電子媒体）の発行」(4.8%)	・お年寄り等の情報弱者にまで周知できる	など（計 46 件）
○「新聞広告（「茨城県からのお知らせ」「県政キャンペーン」「政策広報」など）の活用」(3.3%)	・多くの方に届く方法のひとつで、ある程度まとまった量を掲載できる方法である	など（計 32 件）
○「ラジオ（「県だより」「県政スポット」など）での情報発信」(1.5%)	・運転中にラジオを聴くので、意外と発信力があると思う	など（計 15 件）
○「その他」(12.1%)	・全国放送のテレビでの発信	など（計 117 件）

### 3 アンケート結果を受け、今後の事業展開・アンケートの活用方法等について

- ・新たに策定を予定している「茨城県総合計画」や、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けた施策の検討の参考とする。

## 4 調査の概要

### (1) 調査形態

調査時期：2025年10月3日～2025年10月16日23時59分

調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

モニター数：1,652名

回収率：58.6%（回収数968名）

回答者の属性：以下の通り

	人数(人)	割合(%)
全体(n)	968	100.0
地域別	県北	90
	県央	308
	鹿行	46
	県南	302
	県西	70
	県外	152
性別	男性	418
	女性	550
年齢別	16～19歳	5
	20～29歳	38
	30～39歳	117
	40～49歳	242
	50～59歳	264
	60～69歳	192
	70歳以上	110
職業別	自営業	71
	会社員	369
	団体職員	41
	公務員	50
	主婦・主夫	200
	学生	14
	無職	120
	その他	103

### (2) 担当課

茨城県政策企画部計画推進課（総合計画グループ）

電話：029-301-2523

E-mail：kikaku2@pref.ibaraki.lg.jp

(注) 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の割合の合計と全体を示す数値が一致しないことがある。  
また、図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。